

会 告

社団法人 土 木 学 会

行事案内	月 日	行 事 名	場 所	備 考
本 部	10月 21 日 (金) ～ 22 日 (土)	秋のエキスカーション	長 野 県	9号2ページ参照
	11月 16 日 (水)	第4回岩盤力学に関するシンポジウム	土 木 学 会	10号5 "
	11月 17 日 (木) ～ 18 日 (金)	土木技術者のための岩盤力学講習会	東 京	10号5 "
	11月 22 日 (火)	第3回衛生工学研究討論会	土 木 学 会	10号6 "
	11月 29 日 (火) ～ 30 日 (水)	第3回トンネル工学に関するシンポジウム	東 京	10号7 "
	12月 5 日 (月) ～ 6 日 (火)	第13回海岸工学講演会	仙 台	10号8 "
関 東 支 部	11月 11 日 (金)	舗装講習会	東 京 京	10号12 "
	11月 12 日 (土)	「下久保ダム、利根川大堰」見学会	群 馬	10号12 "
	11月 18 日 (金)	新しい工程管理講習会	東 京 京	10号12 "
	11月 19 日 (土)	「道路と交通」講演と映画の会	東 京 京	10号13 "
	12月 7 日 (水) ～ 9 日 (金)	「現場技術者のための測定技術」講習会	東 京 京	10号13 "
中 部 支 部	11月 18 日 (金)	研究発表会	金 沢 市	10号14 "
関 西 支 部	10月 21 日 (金) 10月 22 日 (土)	学生映画会	京 都 市	10号19 "
	10月 29 日 (土)			
	11月 11 日 (金)	淀川に関する研究会	大 阪 市	10号19 "
	11月 13 日 (日)	年次学術講演会	大 阪 市	10号15 "
	11月 30 日 (水) 12月 1 日 (木)	P Cに関する講演会	大 阪 市	10号19 "
	12月 6 日 (火) ～ 7 日 (水)			
	中 四 支 部	11月 24 日 (木) ～ 26 日 (土)	支部総会および第18回学術講演会	松 山 市
西 部 支 部	10月 28 日 (金)	合同講演会	福 岡	10号20 "
そ の 他	10月 19 日 (水) ～ 20 日 (木)	第16回応用力学連合講演会	東 京 京	9号8 "
	10月 24 日 (月) ～ 27 日 (木)	日本地震工学シンポジウム (1966)	東 京 京	9号5 "
	11月 4 日 (金) ～ 5 日 (土)	第3回災害科学総合シンポジウム	京 都	9号8 "
	11月 18 日 (金)	第13回風に関するシンポジウム	東 京 京	10号10 "
	11月 19 日 (土)	流体模型実験における相似律セミナー	土 木 学 会	10号11 "
	11月 24 日 (木) ～ 26 日 (土)	第15回レオロジー討論会	東 京 京	10号11 "
	11月 25 日 (金)	第13回橋梁・構造工学研究発表会	土 木 学 会	10号10 "
	12月 2 日 (金)	第7回構造の軽量化に関するシンポジウム	土 木 学 会	7号6 "
お 知 ら せ	■昭和41年度土木学会賞候補ならびに吉田研究奨励金候補の募集について			10号2 "
	■第11回水理講演会講演募集			10号6 "
	■コンクリートパイル講習会			10号10 "
	■研究発表会論文・報文募集(北海部支部)			10号12 "

昭和 41 年度土木学会賞候補ならびに吉田研究奨励金候補の募集

昭和 41 年 10 月

社団法人 土 木 学 会

本年度土木学会賞候補の募集ならびに吉田研究奨励金候補の募集をいたします。推薦または応募されますようお願いいたします。

(注) 昨年度から表彰制度の改正により、土木学会賞として功績賞、技術賞、論文賞、吉田賞の4賞を、さらに本年度から田中賞を加えて5賞の表彰を行うことになりました。ただし、功績賞については公募いたしませんので別途資格者に推薦方法を依頼します。

◎土木学会賞候補募集要項

種別	項目	技 術 賞	論 文 賞	吉 田 賞	田 中 賞
候補対象		土木事業の計画、施工等に関し、土木技術の進展に顕著な貢献をなした画期的な総合的業績、もしくは一部の業績 (例) ○○ 事業の総合技術 △△ 事業の施工 □□ に関する考案	(論文賞) 土木学会誌、論文集その他の刊行物に研究、計画、設計、施工、考案などに関する論文を発表し、これが土木工学における学術、技術の進歩発展に独創的な業績をあげ顕著な貢献をなしたもの (論文奨励賞) 土木学会誌、論文集、その他刊行物に研究、計画、設計、施工、考案などに関する論文を発表し、これが土木工学における学術、技術の進歩発展に寄与し、独創性と将来性に富むもので受賞者の年齢が原則として満35才未満であるもの	コンクリートおよび鉄筋コンクリートならびにこれらに関連する優秀な研究工事等を行なったと認められたものに授与し、その業績が土木学会の刊行物、コングリートに関する学術・協会の刊行物、その他これに類する刊行物に研究論文、設計、施工、考案などの報告、またはそれらの要旨が登載されたものの中から選ばれる。	(論文) 橋梁およびその他の構造物に関する優秀な研究成果を対象とし、公刊されたものの中から選ばれる。 (作品) 橋梁およびそれに関連する構造物で、計画、設計、施工、美観などの面においてすぐれた特色を有するもの認められる物を対象とし、つぎの各グループについて選考する。 (1) 長大橋梁 (2) 中小橋梁 (3) その他特殊橋梁および橋梁に関連するもの
受賞候補者		個人または団体	本会会員に限る。過去の土木受賞者は既受賞者とし、重ねて同一の賞の候補者となることはできない。共著者(共同研究者)の中に非会員、既受賞者、その他受賞候補者になることができないものが含まれていることはさしつかえないが受賞候補者に加えることはできない。	日本に国籍を有する個人または研究グループ。ただし、原則としてすでに吉田賞を授与されたものを除く。	(論文) 個人またはその複数 (作品) 作品自身を対象とするもので受賞候補者はない。
候補の範囲		昭和40年1月1日から昭和41年12月31日までの間にできた業績であって日本国内において実施されたものに限る。	昭和40年1月1日から昭和41年12月31日までの間に発表されたもので、土木学会誌、論文集、その他土木学会の刊行物に登載されたもの、その他学・協会・大学・官公庁・会社などの刊行物に登載されたものなど、内容審査に必要な資料の整っているものに限る。	(論文) 論文賞、吉田賞に同じ。 (作品) 昭和40年1月1日から昭和41年12月31日までの間に完成した橋梁およびそれに関連する構造物で、日本人により設計、施工、計画されたものに限る。	
推薦(応募)の方法		会員、支部、土木事業に関連する学・協会、法人の推薦により別に定める推薦者、候補業績の要旨各1部を提出する。候補業績の要旨各1部を提出する。なお、当該業績に関する参考資料を添付することを妨げない。	会員、支部、その他一般の推薦または会員自らの応募により、別に定める様式による推薦書1部を提出する。候補論文が土木学会誌、論文集以外に発表されている場合は推薦書に添えて本文および審査に必要な資料6部と別に定める様式による候補論文要旨1部を提出しなければならない。	会員、支部、その他一般の推薦により別に定める様式による推薦書1部を提出する。土木学会誌、論文集以外に発表された候補論文は推薦書に添えて本文および審査に必要な資料30部を提出しなければならない。 (作品) 会員、支部、その他一般の推薦調査2部を提出する。	
審査		表彰委員会において行う。ただし、審査の途上において推薦者またはその代理人に出席を求め説明をうけることがある。	論文賞選考委員会において行う。なお、必要あるときはさらに資料30部の追加提出を求めることがある。	吉田賞選考委員会において行う。	田中賞選考委員会において行う。なお、必要あるときはさらに関係資料の提出を求めることがある。
表彰		第53回通常総会において行い、賞状、賞牌を贈る。	第53回通常総会において賞牌、賞状、賞金を贈る。	第53回通常総会において賞牌、賞状、賞金を贈る。	第53回通常総会において表彰する。
期 日		昭和 42 年 1 月 20 日			
提出先		東京都新宿区四谷1丁目 土木学会表彰委員会	土木学会論文賞選考委員会	土木学会吉田賞選考委員会	土木学会田中賞選考委員会

土木学会表彰規程

(総 則)

第1条 土木学会規則第34条による表彰はこの規程による。

(賞の種類)

第2条 表彰は次の土木学会賞(仮称)を授与して行う。

1. 功績賞
2. 技術賞
3. 論文賞
4. 吉田賞
5. 田中賞

(功績賞)

第3条 功績賞は土木学会の会員であって、土木工学の進歩、土木事業の発達、土木学会の運営に顕著な貢献をなしたと認められたものに授与する。

(技術賞)

第4条 技術賞は土木事業の計画、設計、施工等に関し、土木技術の進展に顕著な貢献をなしたと認められた画期的な業績に授与する。

(論文賞)

第5条 論文賞は本会会員であって、土木学会誌、論文集、その他の刊行物に研究、計画、施工、考案などに関する論文を発表し、これが土木工学における学術、技術の進歩発展に独創的な業績をあげ、顕著な貢献をなしたと認められたものに授与する。

- (2) 論文奨励賞は本会会員であって、土木学会誌、論文集、その他の刊行物に研究、計画、設計、施工、考案などに関する論文を発表し、これが土木工学における学術、技術に関する進歩発展に寄与し、独創性と将来性に富むものと認められ、受賞者の年齢が原則として満35才未満であるものに授与する。

(吉田賞)

第6条 吉田賞はコンクリートおよび鉄筋コンクリートならびにこれに関連する優秀な研究、工事等を行ったと認められるものに授与し、その業績が土木学会の刊行物、コンクリートおよび鉄筋コンクリートに関する学・協会の刊行物、その他これに類似の刊行物に研究論文、設計、施工、考案等の報告またはそれらの要旨が掲載されたものの中から選ばれる。

(田中賞)

第7条 田中賞は次の論文ならびに作品に授与する。

(1) 論 文

橋梁およびその他の構造物に関する優秀な研究成果を対象とし、公刊されたものの中から選ばれる。

(2) 作 品

橋梁およびそれに関連する構造物で、計画、設計、施工、美観などの面においてすぐれた特色を有すと認められる物を対象とし、長大橋梁、中小橋梁、その他特殊橋梁および橋梁に関するもののグループ別を選ばれる。

(委員会)

第8条 土木学会賞を審議決定するため次の委員会をおく。

1. 表彰委員会
2. 論文賞選考委員会
3. 吉田賞選考委員会
4. 田中賞選考委員会

(2) 表彰委員会は功績賞および技術賞の受賞候補の選考をなし、論文賞、吉田賞および田中賞選考委員会の具申を受けて、必要に応じて各賞間の調整を行い、土木学会賞受賞候補を決定する。

(3) 論文賞選考委員会は論文賞候補の選考を行う。

(4) 吉田賞選考委員会は吉田賞候補の選考を行う。

(5) 田中賞選考委員会は田中賞候補の選考を行う。

(6) 前記各委員会の構成、運営その他については別に内規で定める。

(表彰の時期、方法)

第9条 表彰は原則として毎年1回通常総会において賞牌、賞状等を授与して行う。

◎吉田研究奨励金候補募集要項

1. 候補対象

コンクリートおよび鉄筋コンクリートならびにこれらに関連する研究に従事するもので、特に獨創性と将来性に富むと認められたもの。ただし、原則として同一研究計画に対してすでに吉田研究奨励金を授与されたものを除く。

本年度より従来の自由課題に加えて要望課題についても募集することになりましたのふるってご応募下さい。

(I) 要望課題

- (1) 鉄筋コンクリート部材の極限設計の研究
- (2) 高張力異形鉄筋の有効な使用方法の研究
- (3) 軽量コンクリートの研究
- (4) 砕石コンクリートの研究

(II) 自由課題

従来どおり

2. 募集の方法

日本に国籍を有する個人または研究グループの応募による。

3. 研究成果の報告

研究成果は文書により吉田賞選考委員会に提出するほか昭和43年5月下旬施行の第23回年次学術講演会において吉田研究奨励金を授与された研究であることを明らかにして発表しなければならない。

4. 応募の方法

一定の様式による研究計画1部を提出する。

(計画書の用紙は土木学会本部および各支部に準備してありますから、必ずその用紙を使用して下さい)

5. 審査

吉田賞選考委員会において行う。

6. 締切期日

昭和42年1月20日

7. 提出先

東京都新宿区四谷1丁目 土木学会吉田賞選考委員会

◎昨年度の土木学会賞受賞者(敬称略)

功 績 賞	内 海 清 温	土木工学ならびに土木事業の進展
	鈴 木 雅 次	同 上
技 術 賞	日本国有鉄道	東海道新幹線の建設
	関西電力株式会社	黒部川第四発電所の建設
論 文 賞	林 泰 造	1. THRUSTS EXERTED UPON COMPOSITE-TYPE BREAKWATERS BY THE ACTION OF BRAKING WAVES. 2. VIRTUAL MASS AND THE DAMPING FACTOR OF THE BREAKWATER DURING ROCKING, AND THE MODIFICATION BY THEIR EFFECT OF THE EXPRESSION OF THE THRUSTS EXERTED UPON BREAKWATERS BY THE ACTION OF BREAKING WAVES.
	久 保 浩 一	1. 垂直控えグイの横抵抗 2. 杭の横抵抗の新しい計算法
論文奨励賞	石 原 研 而	1. 非可逆的熱力学にもとづく熱の影響を考慮した圧密理論 2. 粘弾性物質の変形係数におよぼす荷重速度の影響
	中 村 英 夫	航空写真と電子計算機による道路路線の設計法
	土 岐 憲 三	VIBRATIONAL CHARACTERISTICS AND ASEISMIC DESIGN OF SUB-MERGED BRIDGE PIERS.
吉 田 賞	赤 塚 雄 三	港湾工事におけるプレパックドコンクリートの施工管理に関する基礎研究

「土木技術者のための岩盤力学」講習会

◀11月17日(木)~18日(金)▶

土木学会岩盤力学委員会(委員長 岡本舜三氏)は、ダム工学、トンネル工学に関係する土木技術者はもちろん地質学、地球物理学の関係者を含む広範な専門家を集めて、昭和38年発足以来、試験、調査の技術的な検討をはじめ研究成果の発表を行なっておりまゝです。これらの成果は「土木技術者のための岩盤力学」として近く刊行されるはこびとなっております。

岩盤力学の体系化はこれからの土木工学の発展に重要な意義をもつものであり、そのためには今後一層の関係者の研鑽が望まれます。岩盤力学の新鮮さ、重要性を、同書の発刊にあたり、広く関係のかたがたにお知らせしたいと考え、下記により講習会を開催いたしますから、ふるってご参加下さい。

なお、講習会の前日(11月16日)に別記ご案内のとおり恒例の岩盤力学に関するシンポジウムも開催いたしますので、多数ご参加下さいようあわせてお願いいたします。

1. 期 日：1966年11月17日(木)、18日(金)の両日
2. 会 場：虎ノ門共済会館3階講堂(地下鉄・都電・バス；虎ノ門下車徒歩3分・電583-5381~7)
3. 参 加 費：会員4000円 非会員4500円(テキスト代を含む)
4. テキスト：「土木技術者のための岩盤力学」B5判550ページ程度、図表多数 定価3600円
5. 申 込 方 法：「土木技術者のための岩盤力学講習会申込」と明記し、氏名、勤務先、連絡先を記載の上、参加費を添えて11月5日まで、土木学会事業課までお申込み下さい。なお定員がありますので満員の際はお断りすることがあります。

6. プログラム：11月17日(木)

9.30~9.45	開会あいさつ	土木学会岩盤力学委員会委員長	岡本舜三
9.45~10.45	第1章 地質	建設省土木研究所	岡本隆一
10.45~11.30	第2章 岩石の性質	電力中央研究所	井上康夫
11.30~12.30	第3章 岩盤の試験	建設省土木研究所	飯田隆一
12.30~13.30	昼食・休憩		
13.30~14.40	第4章 水と岩盤	埼玉大学理工学部	嶋 祐之
		国鉄鉄道技術研究所	高橋彦治
14.40~15.40	第5章 岩盤力学における理論計算	電力中央研究所	林正夫
15.40~16.20	第6章 滑り安定の計算	京都大学防災研究所	八木則男

11月18日(金)

9.30~10.15	第7章 模型実験	建設省土木研究所	岸本貞男
10.15~11.15	第8章 掘削	鹿島建設KK	津垣昭夫
11.15~12.25	第9章 ダム基礎への応用	東京電力KK	藤井敏夫
12.25~13.30	昼食・休憩		
13.30~14.40	第10章 トンネルへの応用	国鉄大阪工務局	山口良雄
14.40~15.40	第11章 施工中および施工後の測定	関西電力KK 近藤信昭・建設省土木研究所	長友成樹
15.40~16.50	閉会あいさつ	土木学会岩盤力学委員会副委員長	畑野正

第4回岩盤力学に関するシンポジウム

◀11月16日(水)▶

下記により標記シンポジウムを開催いたしますから、ふるってご参加下さるようご案内申し上げます。

1. 期 日：1966年11月16日(水)
2. 会 場：土木学会土木図書館講堂
3. 講演題目：

9.30~9.40 開会あいさつ	土木学会岩盤力学委員会委員長 岡本舜三
9.40~10.00 ① 爆破による岩盤変動の電気的測定	京都大学 ○吉住永三郎・鹿島建設KK 佐藤忠五郎
10.00~10.20 ② トンネル岩盤力学実験結果の施工法への利用	鹿島建設KK ○佐藤忠五郎・児玉安彦・梅田貞夫・松井正州
10.20~10.45 ①~② 討議	
10.45~11.05 ③ 弱い地層をはさんでいる基盤(軟岩)支持力算定の試み	建設省土木研 安江朝光
11.05~11.25 ④ ダム基礎岩盤の安定性検討方法の一試み	建設省土木研 石井文雄・飯田隆一・岸本貞男
11.25~11.50 ③~④ 討議	
11.50~13.00 昼食・休憩	
13.00~13.20 ⑤ 種々な地盤探査法を適用したトンネルの断層予知について	鹿島建設KK 佐藤忠五郎・市川南・田村計・○雑喉謙
13.20~13.40 ⑥ 神居トンネルの地圧について	日本国有鉄道 谷内田昌熙

- 13.40~14.00 ⑦ 泥岩の力学特性—特に超音波による強度の推定— 京都大学 村山朔郎・〇八木剛男
 14.00~14.20 ⑧~⑦ 討議
 14.20~15.20 (特別講演) 国際岩盤力学学会議報告 京都大学 村山朔郎
 15.20~15.40 ⑨ ギャム基礎岩盤の地質区分に関する一試み 建設省土木研 岡本隆一
 15.40~16.00 ⑩ 逐時破壊現象としての変形と耐荷力の解析法の試み—非線形な応力ひずみ状態にある非均質な基礎— 電力技研 林正夫
 16.00~16.20 ⑪ 岩盤内の初期応力分布の推定について 神戸大学 〇桜井春輔・ミンガン州立大学 世良田章正
 16.20~16.40 ⑫~⑩ 討議
 16.40~16.45 閉会あいさつ 土木学会岩盤力学委員会副委員長 畑野正

◎講演概要：参加者の便宜のため当日会場にて頒布いたしますから、ご希望の方はお買求め下さい（B5判、60ページ程度、価格未定）

第3回衛生工学研究討論会

◀ 11月22日(火) ▶

下記により第3回衛生工学研究討論会を開催いたしますのでふるって参加されますようご案内いたします。

1. 主催：土木学会衛生工学委員会
2. 期日：1966年11月22日(火)
3. 会場：土木学会土木図書館講堂
4. 参加費：無料
5. 講演論文集：参加者の便宜のため当日会場にて実費頒布しますから希望者はお買求め下さい（600円程度の見込み）。

プログラム

9.00~9.10	開会挨拶	衛生工学委員会委員長 坂倉 誠
9.10~9.30	① 活性汚泥法における浄化機構の基礎的研究	京都大学工学部 合田 健・中西 弘・宗宮 功
9.30~9.50	② 活性汚泥法の浄化機構について	東北大学工学部 松本順一郎・大沼正郎
9.50~10.10	③ 接触曝気法による下水処理装置	栗田工業総合研究所 関川泰弘・増田暢夫・田中郁雄・石過外志勝
10.10~10.40	①~③ 討議	
10.40~11.00	④ 皮革工場群からの廃水の除害施設の研究	建設省土木研究所 柏谷 衛・菅原正孝・小堀和夫・柳川富雄・長谷川 清
11.00~11.20	⑤ 家庭用吸込槽と洗剤の分解性について	ライオン油脂研究所 大場健吉・吉田幸雄
11.20~11.40	⑥ 隅田川の水質予測とその対策	東京大学工学部 杉木昭典
11.40~12.10	④~⑥ 討議	
12.10~13.10	昼食休憩	
13.10~13.30	⑦ モデル河口貯水池の水質変動	東京大学工学部 徳平 淳・市川 新
13.30~13.50	⑧ 活性珪酸の生成と作用の機構	北海道工学部 丹保 憲仁
13.50~14.10	⑨ 地域開発よりみた浄水方法の2,3の問題	東京大学工学部 綾 日出教
14.10~14.40	⑦~⑨ 討議	
14.40~14.50	休憩	
14.50~15.10	⑩ 漏水を考慮した管路の設計	新日本技術コンサルタント 雄倉 幸昭
15.10~15.30	⑪ 管路における流速公式の比較と計算手順について	北海道大学工学部 高桑 哲男
15.30~15.50	⑫ 火災時を中心とした都市水道施設の設計法に関する2,3の研究	京都産業大学 保野健治郎
15.50~16.10	⑬ 管路内下水の熱収支	北海道大学工学部 神山 桂一
16.10~16.50	⑫~⑬ 討議	
16.50~17.00	閉会挨拶	坂倉 誠

第11回水理講演会講演募集

第11回水理講演会は明年2月3日(金)、4日(土)の両日土木学会において開催いたします。

今回の課題は下記の通りですので多数お申込み下さい。

1. 期日：1967年2月3日(金)~4日(土)
2. 会場：土木学会土木図書館講堂
3. 課題：1. 移動河床の水理 2. 拡散と分散 3. その他
4. 講演申込締切：1966年10月31日(月)
5. 原稿受付締切：1966年12月5日(月)
6. その他：

○原稿用紙は土木学会事業課に請求して下さい。前刷はタイプ印刷にいたします。

○講演会終了後ひきつづいて水文学に関するシンポジウムを行ないます。

第3回トンネル工学に関するシンポジウム

◀11月29日(火)~30日(水)▶

土木学会トンネル工学委員会では、去る昭和39年3月トンネル標準示方書制定以来、トンネル土圧調査小委員会(村山朔郎主査)、工事の実態調査小委員会(住友彰主査)、トンネル用鋼アーチ支保工の強度に関する研究小委員会(坂本貞雄主査)、シールド工法小委員会(西嶋国造主査)の各小委員会において、それぞれ専門的に調査研究を続けてまいりましたが、これらの調査結果を中心に下記により標記シンポジウムを開催することになりました。

また、当シンポジウムでは恒例により最近のトンネル施工の現況をもあわせて講演することになっております。会員諸氏におかれましては、ふるってご参加下さるようご案内いたします。

1. 期 日: 1966年11月29日(火)、30日(水)の両日

2. 会 場: 私学会館7階講堂(国電市ヶ谷駅下車徒歩3分)

3. 参加費: 会員 3000円 非会員 3500円(テキスト代を含む)(決定)

テキスト { 第3回トンネル工学に関するシンポジウム(トンネル工学シリーズ3)
 わが国シールド工法の実施例・第1集 (" 4)

4. 申込方法: 参加費を添えて11月15日までに土木学会事業課までお申込み下さい。なお、定員がありますので満員の際はお断りすることがあります。

5. プログラム: (11月29日)

9.00~9.10	開会あいさつ	土木学会トンネル工学委員会委員長	藤井松太郎
9.10~9.50	トンネル土圧について	京都大学防災研究所	○村山朔郎
9.55~10.35	トンネル土圧の測定方法と現況	国鉄鉄道技術研究所	○高橋彦治
10.40~11.20	鋼アーチ支保工の強度	KK大林組 坂本貞雄・建設省土木研究所	○伊吹山四郎
11.25~12.05	トンネル掘削における余掘の実態について	KK橋梁コンサルタント 住友彰・建設省道路局	南部繁春
		国鉄建設局 ○峰本守・日本鉄道建設公団	高山昭雅
		日本道路公団 今西誠也・電源開発KK	渡部雅
12.05~13.00	昼食休憩		
13.00~13.40	セグメントの設計について	早稲田大学理工学部 村上博智・東京都立大学工学部	○山本稔
13.45~14.25	栗子トンネル工事計画と施工実績について	日本道路公団	○山本元
14.30~15.10	親不知トンネルの工事計画と施工実績について	国鉄本社審議室	○北村章
15.15~15.55	青函トンネルにおけるウォールマイヤー式トンネル掘進機の掘削試験について	日本鉄道建設公団	○天野礼二

(11月30日)

9.00~9.30	わが国シールド工法の実施例・第1集について	帝都高速度交通営団 ○西嶋国造・東京都交通局	遠藤浩三
		東京都下水道局 松岡正次・東京都水道局	中川義徳
		東京電力KK 吉川新吉・大阪市交通局	小林幸蔵
9.35~10.15	大阪地下鉄複線型と単線型シールドの実施例と問題点	大阪市交通局	○宮内義人
10.20~11.00	シールド工法による駅部の施工計画について	帝都高速度交通営団 西嶋国造・東京都交通局	○遠藤浩三
11.05~11.45	わが国小口径シールドの現況	東京都下水道局 ○中川義徳・東京都下水道局	松岡正次・東京電力KK
			吉川新吉
11.50~12.00	閉会あいさつ	土木学会トンネル工学委員会幹事長	加納俊二

6. 見学会: 11月30日 14時

講習会終了後下記により見学会を開催いたします。参加希望者はシンポジウム申込と同時に申し出下さい。なお、現場の都合もあり、必ずしもご希望の現場を見学できない場合もありますので希望順位をお書添下さい(参加費無料)。

A. シールド工法実施現場(帝都高速度交通営団担当現場および東京都交通局担当現場の予定)参加人員 100名

B. 凍結工法実施現場(東京都交通局担当現場の安定)参加人員 50名

なお、詳細は当日会場にて発表いたしますが、集合場所は現地になる予定です。

第13回海岸工学講演会

◀12月5日(月)~6日(火)▶

第13回海岸工学講演会はずぎの日程により仙台市において開催いたしますので多数ご参加下さるようご案内いたします。なお、講演集はB5判活版印刷で目下編集中です。

1. 場 所：宮城県民会館（仙台市禅寺通り櫓丁 48 電・仙合 25-8641）
2. 講演会：1966年12月5日(月)~6日(火)
3. 講演題目：

第1日・12月5日(月)午前

○印は講演者

- | | | |
|-------------|-----------------------------------|--|
| 9.00~9.05 | 開会あいさつ | 土木学会海岸工学委員会委員長 本 間 仁 |
| 9.05~9.20 | ① クノイド波に関する二、三の実験 | 京都大学防災研究所 ○岩垣雄一・細見昌彦 |
| 9.20~9.35 | ② 反射に関する基礎的研究 | 大阪大学 室田 明・○山田哲二 |
| 9.35~9.50 | ③ 波に及ぼす風的作用 | 九州大学応用力学研究所 光 易 恒 |
| 9.50~10.05 | ④ 現地海岸の海底摩擦係数について(2) | 京都大学防災研究所 岩垣雄一・○柿沼忠男 |
| 10.05~10.20 | ⑤ 波高計を使った波向観測の実例 | 九州大学 井島武士・運輸省港湾局 木内政親・運輸省第2港建 ○関口雅臣 |
| 10.20~10.35 | 討議 ①~⑤ | |
| 10.35~10.45 | 休憩 | |
| 10.45~11.00 | ⑥ 大樹漁港の波峯水位の確率計算について | 日本大学 久宝 保・○竹沢三雄 |
| 11.00~11.15 | ⑦ 佐渡ヶ島の波に対するしゃへい作用 | 東京大学 本間 仁・堀川清司・○趙 栄耀 |
| 11.15~11.30 | ⑧ 東北および北陸地方における日本海沿岸の波の特性について；第1報 | 運輸省第1港建 板尾純一・○木戸 武・山田五郎・九州大学 井島武士
建設省東北地建 井 沢 健 二 |
| 11.30~11.45 | ⑨ 青森港における波浪に関する研究 | |
| 11.45~12.00 | 討議 ⑥~⑨ | |
| 12.00~13.00 | 昼食・休憩 | |

12月5日(月)午後 第1会場

- | | | |
|-------------|------------------------------|--------------------------------|
| 13.00~13.15 | ⑩ 鹿島海岸における波浪観測 | 運輸省港湾技術研究所 高橋智晴・佐々木 弘・○鈴木禧実 |
| 13.15~13.30 | ⑪ 砕波による波の変形に関する研究 | 農林省農業土木試験場 ○中村 充・白石英彦・佐々木泰雄 |
| 13.30~13.45 | ⑫ 潜堤による消波について | 農林省農業土木試験場 中村 充・○白石英彦・佐々木泰雄 |
| 13.45~14.00 | ⑬ 海岸構造物不連続部の波高分布について(その1) | 徳島大学 三 井 宏 |
| 14.00~14.15 | 討議 ⑩~⑬ | |
| 14.15~14.30 | ⑭ 越波による防波堤背後への波高伝達率 | 運輸省港湾技術研究所 合田良実・○竹田英章 |
| 14.30~14.45 | ⑮ 弾性壁の波浪透過について | 神戸大学 杉本修一・明石工業高校 ○西村益夫 |
| 14.45~15.00 | ⑯ 透過性筒型構造防波堤の水理 | 中央大学 林 泰造・服部昌太郎・大成建設KKK ○白井増次郎 |
| 15.00~15.15 | ⑰ 不規則な重複波の圧力に関する研究 | 大阪市立大学 永井荘七郎・時川和夫・○大坪崇彦 |
| 15.15~15.30 | 討議 ⑭~⑰ | |
| 15.30~15.40 | 休憩 | |
| 15.40~15.55 | ⑱ 混成堤直立部に作用する波圧に対するマウンド形状の影響 | 運輸省第3港建 加川道男・○片山猛雄・江口憲司 |
| 15.55~16.10 | ⑲ 棧橋に働く揚圧力に関する研究 | 大阪市立大学 ○永井荘七郎・久保 直・時川和夫 |
| 16.10~16.25 | ⑳ 棧橋床板に作用する揚圧力の実験的研究 | 大阪大学 室田 明・○古土井光昭 |
| 16.25~16.40 | 討議 ⑱~㉑ | |

12月5日(月)午後 第2会場

- | | | |
|-------------|---|---|
| 13.00~13.15 | ㉒ 波による砂の移動についての一考察 | 東京大学 堀川清司・○渡辺 晃 |
| 13.15~13.30 | ㉓ 波による海底砂の初期移動について | 京都大学防災研究所 野 田 英 明 |
| 13.30~13.45 | ㉔ 漂砂の移動限界流速および限界水深に関する再考 | 大阪大学 榎 木 亨 |
| 13.45~14.00 | ㉕ 離岸堤による砂浜変形特性 | 九州大学 篠原謙爾・○池田 茂 |
| 14.00~14.15 | 討議 ㉒~㉔ | |
| 14.15~14.30 | ㉖ 河口における沿岸砂州の発生、発達について(河口閉塞機構に関する基礎的研究；第2報) | 大阪大学 榎木 亨・名古屋大学 ○竹内 宏 |
| 14.30~14.45 | ㉗ 波による直立壁堤脚部の二次元洗掘実験 | 運輸省港湾技術研究所 佐藤昭二・田中則男・○入江 功 |
| 14.45~15.00 | ㉘ 混成堤基礎の洗掘に関する一実験 | 運輸省第3港建 加川道男・中山種清 |
| 15.00~15.15 | ㉙ 直立防波堤の洗掘災害 | 静岡県富士臨海地区総合開発事務所 市 川 武 |
| 15.15~15.30 | 討議 ㉖~㉘ | |
| 15.30~15.40 | 休憩 | |
| 15.40~15.55 | ㉚ 漂砂採取装置の試作ならびに使用結果 | 日本大学 小 川 元 |
| 15.55~16.10 | ㉛ 仙台海岸の漂砂について | 運輸省港湾技術研究所 佐藤昭二・運輸省第2港建 庄司忠夫・運輸省港湾技術研究所 ○田中則男 |
| 16.10~16.25 | ㉜ 越波防止のための消波工について | 建設省土木研究所 富永正照・○佐久間 襄 |
| 16.25~16.40 | ㉝ 海岸防波護岸工法について | 海岸工法研究所 西 東 慶 治 |
| 16.40~16.55 | ㉞ 西神戸地区高潮対策事業における消波ブロックの据付方法について | 神戸市臨時海岸防災本部 鳥 居 幸 雄 |
| 16.55~17.10 | 討議 ㉚~㉜ | |

第2日・12月6日(火)午前

- | | | |
|-----------|-----------------------|---------------------------|
| 9.00~9.15 | ㉟ 法面上の波の遡上機構に関する実験的研究 | 京都大学防災研究所 岩垣雄一・○井上雅夫・大堀晃一 |
| 9.15~9.30 | ㊱ 不規則な波のより上り高に関する一実験 | 東京大学 堀川清司・○小森修蔵 |

- 9.30～9.45 ㉔ V字状法線をした海岸堤防へ入射する波のうちあげ高について(続)
建設省土木研究所 富永正照・中央大学 首藤伸夫・建設省土木研究所 〇鶴木和夫
中央大学 首藤伸夫
- 9.45～10.00 ㉕ 長波のうちあげ高
- 10.00～10.15 ㉖ 水平な陸上への津波の遡上に関する研究
東北大学 岩崎敏夫・〇富樫宏由
- 10.15～10.30 討議 ㉔～㉖
- 10.30～10.40 休憩
- 10.40～10.55 ㉗ 長波の研究用造波装置とその特性について
東北大学〇岩崎敏夫・楊 沢民
- 10.55～11.10 ㉘ L字型湾の振動特性について
東京大学 本間 仁・堀川清司・〇西村仁嗣
- 11.10～11.25 ㉙ 高潮推算における Staggered System について(1)
運輸省港湾局 堀 口 孝 男
- 11.25～11.40 ㉚ 高潮における気圧と風の効果の比較
東海大学 〇宇野木早苗・気象庁気象研究所 磯崎一郎
- 11.40～11.55 ㉛ 高潮の共振と湾入部における変形についての実験的研究
大阪大学 〇室田 明・島田壮二郎
- 11.55～12.10 討議 ㉙～㉛
- 12.10～13.00 昼食・休憩

12月6日(火)午後

- 13.00～13.15 ㉜ 密度流の問題(1)
運輸省港湾技術研究所 浜田 徳 一
- 13.15～13.30 ㉝ 二層流境界面抵抗係数の一例
運輸省港湾技術研究所 金子 安 雄
- 13.30～13.45 ㉞ 河口を出る淡水の流れ,
北海道大学 〇柏村正和・吉田勝男
- 13.45～14.00 ㉟ 石狩川河口の研究(3)
北海道大学 福島久雄・八坂 功・〇高橋 将・大谷守正
- 14.00～14.15 ㊱ 潮流による拡散の数理模型実験
京都大学防災研究所 〇樋口明生・杉本隆成
- 14.15～14.30 討議 ㉜～㉞
- 14.30～14.45 ㊲ 入江内における冷却水取水の研究(2)
電力中央研究所〇和田 明・片野尚明
- 14.45～15.00 ㊳ 神通川河口の塩化くさびについて
北陸電力KK 稲松敏夫 電力中央研究所 〇中村 宏
- 15.00～15.15 ㊴ 火力発電所よりの放出冷却水の湾内拡散について
中央大学 〇林 泰造・首藤伸夫・川上克巳
- 15.15～15.30 ㊵ モデル河口湖調査—主として塩分収支について—
千葉県工業用水部 永岡乙哉・木川 進・〇高橋淳一・池田達哉・三井共同コンサルタンツ 三宅康夫
- 15.30～15.45 討議 ㊲～㊴
- 15.45～16.00 休憩
- 16.00～16.40 映画
- 16.40～16.45 閉会あいさつ
土木学会海岸工学委員会委員長 本 間 仁

4. 見学会: 1966年12月7日(水) 8.00～17.00

宮城県民会館集合(8.00) 一市内(青葉城)一塩釜海岸一松島海岸(双観山→瑞巖寺→五大堂)一石巻海岸(日
山→工業港現場)一女川港一仙台駅前解散(17.00)

5. 見学会参加費: 500円(バス代および昼食代)

6. 申込先: 東京都新宿区四谷1丁目 土木学会海岸工学講演会係 見学会定員 100名(参加者多数の場合は申込受付順とい
たします)

7. 講演会場案内:

電 車一仙台駅前より八幡町または北仙台行に乘車, 県庁市役所前下車, 徒歩5分
バ ス一仙台駅前より北山行乗車, 市役所前下車
タクシー一仙台駅前より 100円

8. 宿泊案内: 今回はとくに取扱いませんが共済施設として, つぎのようなものがありますので参考までにお知らせします。

国定公務員共済組合連合会仙台共済会館(仙台市長刀町7 電・仙台 25-5201)
国家公務員共済組合連合会仙台宿泊所翠月荘(仙台市北4番丁 162 電・仙台 22-4469)
公立学校共済組合保養所白萩荘(仙台市錦町7 電・仙台 22-6692)

コンクリート及び合成構造における急速施工に関する研究発表会

(第13回橋梁・構造工学研究発表会)

◀11月25日(金)▶

下記により標記研究発表会を開催いたします。今回の研究発表会はこれらの研究課題を中心に活発なディスカッションを行なう予定ですのでふるってご参加下さるようお願い申し上げます。

1. 共 催: 日本学術会議橋梁・構造工学研究連絡委員会・土木学会・日本建築学会
2. 会 場: 土木学会図書館講堂(東京都新宿区四谷1丁目・国電四谷駅下車)
3. 会 場: 聴講無料
4. 講演概要: 会場にて実費頒布
5. 講演内容: (タイムスケジュールについては次号にてお知らせします)

- ① プレキャスト円環柱の埋込長に関する実験的研究 京都大学 岡田 清・道路公団 山根 巖・京都大学 小野敏一
- ② 鋼とコンクリート・プレファブ部材との結合に関する2,3の実験 国鉄構設 田島二郎・阿部英彦・本田修一・中野昭郎
- ③ プレキャストコンクリートパイロを柱材とした橋脚の急速施工と関連の実験 日本コンクリート工業 高野民夫・杉木六郎
- ④ 鉄筋コンクリート合成スラブ橋 東京大学 松本嘉司・国鉄盛工 初上 温・国鉄構設 安本修一

- ⑤ 急速施工を考えた場合の 2, 3 の接合方式 国鉄技研 樋口芳明・国鉄盛工 大山 忠・国鉄東工 野口 功
- ⑥ プレキャストブロックによる実施例 首都高速 宮内敬保・上前行孝・西山啓伸
- ⑦ 紀勢本線有田川橋梁架設工事における急速施工の検討について 国鉄大工 宮口尹秀・国鉄構設 小池 晋
- ⑧ 早大第 2 学生会館の設計施工について 早稲田大学 武 基雄・谷 資信
- ⑨ プレキャスト PC コンクリート建物の 2, 3 の組立方法 岡本設計事務所 岡 本 剛
- ⑩ 4, 5 階建壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造共同住宅の実用化に関する研究
住宅公団 菅 陸二・太田泰男・渡辺覚一・山内 修・東 貞三・中川友夫・江里口富久也・河原 昂
- ⑪ 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート構造の耐力性状に関する研究 (その 1・縮小模型実験)
東大生研 坪井善勝・東京工業大学 加藤六美・横浜国立大学 末永保美・東京工業大学 黒正清治
- ⑫ 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート構造の耐力性状に関する研究 (その 2・ $2/4$ 模型実験)
東大生研 坪井善勝・九州大学 佐治泰次・建設省建築研究所 中野清司・広沢雅也・大成建設 平賀謙一・九州大学 富井政英・建設省建築研究所 品川多美二
- ⑬ 中層量産アパートの研究 建設省建築研究所 川越邦雄・亀田泰弘・中野清司・篠沢清見・今泉勝吉・茶谷正洋

第 13 回風に関するシンポジウム

◀ 11 月 18 日 (金) 10.00 ~ ▶

1. 会 場：気象庁講堂 (東京都千代田区大手町 1 の 7)
2. 共催学会：日本海洋学会・日本気象学会・日本建築学会・日本航空学会・日本地理学会・土木学会・地震学会・日本林学会・(幹事学会) 日本農業気象学会

3. 講演題目：

- ① 防風林の効率 農技研 谷 信 輝
- ② 地面付近の風向変動について 気象大 岡 本 雅 典
- ③ 対数境界層高度の日変化について 電力中央研 千 秋 鋭 夫
- ④ 海面に働く風の stress について 防災センター 岩 田 憲 幸
- ⑤ プイによる海面上の境界層の観測 東大海洋研 小倉義光・◎竹田 厚・田中 浩・八木橋章子・石川浩治
- ⑥ 山越気流について (風洞実験) 気象研 相馬清二・江口 博
- ⑦ 風洞内における拡散の研究 (I) お茶水大 加藤真規子・坂上治郎
- ⑧ 煙拡散の風洞実験について 三菱重工長崎研 笠口展宏・◎岡本汎貴
- ⑨ 境界層を考慮した乱流拡散について 三菱重工長崎研 笠口展宏・坂田 弘・◎井手雄雄
- ⑩ 数値計算による煙の拡散の研究 (高い煙源からの拡散および地形の影響) 電力中央研 日 野 幹 雄
- ⑪ 強風時、柱状体に作用する変動風圧力の測定について 鹿大工 立 川 正 夫
- ⑫ 建造物の表面に作用する風圧変動のスペクトルについて 京大防災研 石崎澁雄・許 昌九
- ⑬ 建物の室内圧について 京大防災研 石崎澁雄・桂 順治
- ⑭ 風の共振現象について 農技研 水 高 信 雄

◎特別講演

- ① Kyoto Symposium 報告 気象庁 竹 内 清 秀
 - ② 気象と航空 気象庁 光 野 一
- (終了後懇親会を開く予定です)

コンクリート パイル基礎講習会—コンクリートパイルを用いた基礎の理論・設計・施工—

1. 主 催：コンクリートポールパイル協会・セメント協会
2. 協 賛：建設省・日本建築学会・土木学会・土質工学会・日本材料学会・全国建設業協会・日本道路協会
3. 開催地会場会期：

東京会場	ニッショーホール：港区芝西久保明舟町 18	1966 年 10 月 25 日 (火)
名古屋会場	名古屋市公会堂：名古屋市昭和区鶴舞町 61	1966 年 11 月 1 日 (火)
大阪会場	関電ホール：大阪市北区中之島 3-5 関電ビル内	1966 年 10 月 27 日 (木)

4. 講師および科目：

	クイ基礎の理論	コンクリートパイルの特	建築用クイ基礎の設計	土木用クイ基礎の設計	クイ打ち施工
東京 10月25日(火)	岸田英明 (建 研)	杉木六郎 (日本コンクリート)	古藤田喜久雄 (早大助教授)	鈴木俊男 (東京都5建)	豊島光夫 (東京建設)
名古屋 11月1日(火)	吉田 巖 (土 研)	綾 亀 一 (大同コンクリート)	遠藤正明 (竹中技研研)	玉野治光 (首都高速公園)	山門明雄 (法政大教授)
大阪 10月27日(木)	山 肩 邦 男 (京工織大助教授)	杉木六郎	川崎考人 (竹中技研研)	池田康平 (鉄道建設公園)	豊島光夫

講師の都合により変更する場合があります。

5. 申し込み先：コンクリートポールパイル協会；東京都中央区銀座 4-5 三福ビル 535-4842~3・567-8750
6. 聴 講 料：無料
7. テキスト：新刊「コンクリートパイル ハンドブック」を使用、定価 2500 円 会場にてはらぶします。

流体模型実験における相似律セミナー

1. 期 日：1966年11月19日(土) 9.15~17.15
2. 共 催(順不同)：日本学術会議水力学・水理学研究連絡委員会、同力学研究連絡委員会(交渉中のものも含む)土木学会、日本機械学会、造船協会、農業土木学会、航空学会、気象学会、日本建築学会、物理学会、
3. 会 場：土木学会土木図書館講堂(東京都新宿区四谷1丁目、外濠公園入口)
4. 内 容：講演題目数：11、講演時間：35分(20分+討論 15分)
- | | | | |
|-------------|--------------------------|-------------------------|--------|
| 9.15~9.25 | 開会あいさつ | 日本学術会議水力学・水理学研究連絡委員会委員長 | 石原 藤次郎 |
| 9.25~10.00 | ① 移動河床水理の相似律 | 名古屋大学教授 | 足立 昭平 |
| 10.00~10.35 | ② 非定常水流の相似律 | 中央大学教授 | 林 泰造 |
| 10.40~11.15 | ③ 構造物に作用する風力の相似律 | 東北大学教授 | 亀井 勇 |
| 11.15~11.50 | ④ 大気拡散の模型実験 | 気象研究所測器研究部研究室長 | 根本 茂 |
| 11.50~12.25 | ⑤ 風洞実験における境界層遷移を主眼とする相似 | 東京大学教授 | 谷 一郎 |
| 13.30~14.05 | ⑥ 顕著な躍層分布を示す貯水池の表層取水の相似律 | 農業土木試験場水産土木部長 | 出口 利祐 |
| 14.05~14.40 | ⑦ 浸透流の相似律 | 山形大学助手 | 吉田 昭治 |
| 14.40~15.15 | ⑧ 混相流の相似律 | 大阪大学教授 | 植松 明雄 |
| 15.25~16.00 | ⑨ ターボ型ポンプの性能換算の相似律 | 東京大学教授 | 白倉 昌明 |
| 16.00~16.35 | ⑩ 船の速力性能に関する相似律 | 大阪大学教授 | 笹島 秀雄 |
| 16.35~17.10 | ⑪ 船の運動性能に関する相似律 | 三菱重工業長崎研究所船型試験場 | 藤井 齋 |
| 17.10~17.15 | 閉会あいさつ | 日本学術会議・力学研究連絡委員会委員長 | 谷 一郎 |

第15回レオロジー討論会(東京)

◀ 11月24日(木)~26日(土) ▶

- 共 催：高分子学会・日本化学会・日本物理学会・日本材料学会・応用物理学会・日本接着協会・色材協会・日本金属学会・窯業協会・土木学会・日本ゴム協会・繊維学会
1. 日 時：1966年11月24日(木)~26日(土)の3日間
2. 場 所：東京工業大学講堂(東京都目黒区大岡山1)
3. 主 題：1) 接着のレオロジー 接着のレオロジー(組織内への流動・拡散、粘着、固化など)接着過程に関連するレオロジー現象、生成した接着系や塗膜の変形と破壊、その他広く界面の関係するレオロジー。2) レオロジー一般
4. 日 程：

月 日	明 間	内 容	展 示 会 (予 定)
10月24日(木)	9.00~12.00	研究発表 1~9	
	13.00~14.00	特別講演(I)	
	14.00~15.00	研究発表 10~13	
	15.00~17.30	パネルディスカッション	
10月25日(金)	9.00~12.00	研究発表 14~22	
	13.00~14.00	特別講演(II)	
	14.00~17.00	研究発表 23~31	
10月26日(土)	9.00~12.00	研究発表 32~40	
	13.00~14.00	特別講演(III)	
	14.00~17.00	研究発表 41~49	

時 間 講演 10分 討論 10分

5. 参加要領：本年は、発表件数が多いので、1件あたりの講演時間を短縮いたします(講演時間 10分、討論時間 10分 計 20分)。講演時間は研究の主要点と問題点の説明にあてられます。したがって、本討論会に参加される方は予稿集を予約し、前もって頒布される予稿集を読み内容を理解しておいて下さい。
- ① 本討論会は予約を原則といたしますので参加を希望される方は、10月31日までに予稿集代金 800円(送料とも)を添え下記に申し込むこと(残部に限り当日受付 1200円)
- ② 予稿集は 11月初旬に発送の予定である。
東京都中央区日本橋本町 3~9
社団法人 高分子学会 第15回レオロジー討論会係
6. 懇親会 日 時 1966年11月25日(金) 18.00~20.00
場 所 雅叙園観光ホテル
会 費 1000円
申込先は上記に同じ。

北海道支部行事案内 (札幌市南一条西2丁目 勸銀ビル5階)
電 札幌 25-2211 内線 252

(1) 研究発表会論文・報文・募集

北海道支部年次研究発表会(2月下旬)に発表の論文または報文をつぎの要領で募集します。

1. 発 表 : 北海道支部刊行技術資料第 23 号に本印刷掲載
2. 内 容 : 土木技術論文・工事報告文
3. 応募方法 : 応募者は、題名・所属・氏名を支部事務局へ口頭または郵便で申込みのこと。ただちに原稿執筆要領、所定の原稿用紙を送付する。
4. 原稿締切 : 11 月末日厳守
発表者には薄謝を呈し、特にすぐれたものには、支部奨励賞(賞状・メダル・賞金)を贈り表彰する。
5. 申 込 み : 参加費、テキスト定価 700 円、送料 50 円を添えて 10 月 31 日までにお申し込み下さい。ただし満員になり次第締切ります。

関東支部行事案内 (東京都新宿区四谷1丁目 土木学会総務課内・電 東京 351-4133)

(1) 「舗装」講習会

◀ 11 月 11 日 (金) ▶

1. 会 場 : ヤマハホール(東京都中央区銀座7丁目1 電話 東京 572-3111, 国電・地下鉄新橋下車, 都電銀座7丁目停留所前)
2. プログラム :

9.20~10.00	①舗装について	建設省 高橋 国一郎
10.10~11.50	②アスファルト舗装要綱の問題点について	中央大学 故竹 下 春見(代講建設省 多田広行)
12.50~14.00	③アスファルト舗装の品質管理	土 研 松野 三朗
14.10~15.20	④舗装施工上の問題点	日本舗道 中島 彬 博
15.30~16.40	⑤簡易舗装について	建設省 田中 淳七郎
3. 定 員 : 500 名
4. 参 加 費 : 1200 円(テキスト代 700 円を含む) テキスト定価 700 円 送料 50 円
5. 申 込 み : 参加費を添えて 10 月 31 日までにお申し込み下さい。ただし満員になり次第締切ります。

(2) 「下久保ダム, 利根川大堰」見学会

◀ 11 月 12 日 (土) ▶

秋の見学会として、東京周辺で実施中の水資源開発公団の工事を選びました。下久保ダム工事は目下最盛期にあり、利根川大堰の工事は着工後2年目を迎え、利根本川中央部締切工事着工の予定であります。いずれも現場見学としては最良の機会であります。ふるってご参加下さるよう、おすすめいたします。

1. 集 合 : 11 月 12 日 (土) 10. 10 国鉄高崎線 高崎駅前
2. 見 学 先 : 下久保ダム, 利根川大堰
3. 解 散 : 11 月 12 日 (土) 16. 40 国鉄高崎線 熊谷駅前
4. 定 員 : 50 名
5. 参 加 費 : 500 円(昼食を含み、高崎までと熊谷からの交通費を含まない)
6. 申 込 込 : 10 月 31 日 (月) までに参加費を添えて関東支部へお申し込み下さい。

— 参 考 —

ゆきの列車: 上野 8.30 発 高崎 10.01 着 急行第1妙高
かえりの列車: 熊谷 17.00 発 上野 18.05 着 急行草津いでゆ
" 17.20 発 " 18.44 着 普通列車

(3) 「新しい工程管理」講習会

◀ 11 月 18 日 (金) ▶

1. 会 場 : ニッショーホール(東京都港区芝西久保明舟町 18 電話 東京 501-1365, 地下鉄虎の門下車, 都電西久保巴町下車)
2. プログラム :

9.00~10.50	①プロジェクト管理の基本理快とネットワーク手法の概説	大成建設 加藤 昭 吉
11.00~12.00	②建設部門におけるネットワーク手法の今後の動向	建設省 本山 菊
13.00~14.00	③国鉄 PERT と今後の展望	国 鉄 矢部 真・北井 良吉

14.10~15.30 ④ネットワーク手法の応用例
15.40~17.00 ⑤事業管理とネットワーク

三菱重工業 鴨 打 幹 人
首都高速道路公団 角 田 安 一

3. 定 員：300 名
4. 参 加 費：1200 円 (テキスト代 700 円を含む) テキスト定価 700 円, 送料 50 円
5. 申 込 み：参加費を添えて 11 月 7 日までにお申し込み下さい。ただし満員になり次第締切ります。

(4) 「道路と交通」講演と映画の会

◀ 11 月 19 日 (土) 13.00 ~ ▶

土木に対する一般の認識を高めるための一つの方法として、広く公衆を対象とした講演と映画の会を開催いたします。会員の方のご参加を歓迎いたします。

1. 主 催：土木学会関東支部・毎日新聞社・交通工学研究会
2. 後 援：警察庁・建設省
3. 会 場：ニッショーホール (前掲)
4. 講 師：① 警察庁交通局長 内 海 倫
 ② 毎日新聞社論説委員 厚 川 正 夫
 ③ 交通工学研究会 伊 吹 山 四 郎
5. 映 画：「世界の道路と都市」「ハイウェイの王様」
6. 定 員：500 名
7. 参 加 費：無 料

(5) 「現場技術者のための測定技術」講習会 ◀ 12 月 7 日 (水), 8 日 (木), 9 日 (金) ▶

最近土木工学が進歩するにつれて、着工前に工事現場で工学的条件の測定を行なうばかりでなく、工事中も工事を測定器で計算しながら施工管理をして行く傾向が顕著になって来ています。

このため関東支部では、新しく土木工学に応用されているものの中で、主として、ひずみ、応力および変位に関する測定技術についてのゼミナーを開催いたしますので、多数ご参加下さい。なお、講義には土木工学での応用を多く引用する予定であります。

1. 会 場：土木学会土木図書館講堂 (講義, 実習とも)
2. プログラム：第 1 日 12 月 7 日 (水) 講義
 9.50 あいさつ 土木学会関東支部長 当 山 道 三
 10.00~12.00 カールソン型計器を主とする測定 KK土木測器センター 中 根 博 司
 13.00~15.00 ストレインゲージによる測定 新興通信工業KK 青 柳 鷹之助
 15.10~17.10 差動トランスおよび褶動抵抗による測定 坂田電機KK 針 生 幸 治
第 2 日 12 月 8 日 (木) 実習 9.30~16.00
第 3 日 12 月 9 日 (金) 実習 9.30~12.00
 討議 13.00~16.00

—実 習 内 容—

- ① カールソン型計器の基本操作と測定結果の解釈
② 鉄片およびコンクリート片へのゲージのはりつけおよび測定実習
③ 差動トランスと褶動抵抗に於ける測定の基本操作と測定結果の解釈
3. 定 員：講義および実習 60 名
 講義のみ 100 名 (上記 60 名のほかに)
4. 参 加 費：講義および実習 (3 日間) 6000 円
 講義のみ (1 日間) 2000 円
 (いずれもテキスト代 1500 円を含む) テキスト定価 1500 円, 送料 70 円
5. 申 込 み：参加費を添えて 11 月 5 日までに関東支部へお申し込み下さい。ただし満員になり次第締切ります。

中部支部行事案内(名古屋市中村区笹島町1の223 名古屋鉄道土木部内・電 名古屋 571-2111)

昭和 41 年度中部支部研究発表会

◀ 11 月 18 日 (金) ▶

1. 場 所: 金沢大学工学部物理特別教室・化学特別教室
 ○金沢駅前バス5番乗場より湯涌温泉行または金沢商高校前行に乘車, 上野本町下車, 徒歩2分
2. 定 員: 200名 参加費: 無料
3. 申し込み: 10月31日(月)までに中部支部に勤務場所, 氏名をご連絡下さい。
4. 研究発表会プログラム

第1会場 化学特別教室

- | | | | |
|------|-------------|----------------------------------|---|
| 1~1 | 9.00~9.15 | トラスの振動について | 岐阜大学工学部 井上 肇 |
| 1~2 | 9.15~9.30 | 道路橋の衝撃に関する確率的 2, 3 の考察 | 金沢大学工学部 菅内 敏・○大辻秀明 |
| 1~3 | 9.30~9.45 | 構造部材の応力に関する 2・3 の実験的研究 | 金沢大学工学部 菅内 敏・○池田紀彦・松田 誠 |
| 1~4 | 9.45~10.00 | 移動くり返し荷重を受ける不静定梁の崩壊について | 名古屋大学工学部 福本晴士・金沢大学工学部 小堀為雄・○吉田 博 |
| 1~5 | 10.00~10.15 | 光弾性皮膜法による鋼部材の弾塑性域の拡がりに関する研究(その2) | 名古屋大学工学部 川本眺万・福本晴士・○宇佐美勉 |
| 1~6 | 10.15~10.30 | フランジの局部座屈 | 名古屋大学工学部 福本晴士・竹内尚志・○伊藤義則 |
| 1~7 | 10.40~10.55 | I型ばりの横倒れ座屈強度 | 名古屋大学工学部 福本晴士・○藤原 稔 |
| 1~8 | 10.55~11.10 | 鋼薄肉矩形断面のねじり試験について | 名古屋大学工学部 島田静雄・水野一男・山本邦夫 |
| 1~9 | 11.10~11.25 | 岩盤の初期応力の算定に関する研究 | 名古屋大学工学部 川本眺万・○高橋由行 |
| 1~10 | 11.25~11.40 | Reduction 法によるアーチの解析 | 名古屋大学工学部 成岡昌夫・○桑山八州彦 |
| 1~11 | 11.40~11.55 | 地梁上の梁の一塑性計算 | 信州大学工学部 草間 孝志 |
| 1~12 | 11.55~12.10 | ラーメン計算上の基礎条件のとり方 | 信州大学工学部 長 尚 |
| | | 昼食休憩 12.10~13.00 | |
| 特別講演 | 13.00~13.55 | 辰己用水の話 | 石川県議会図書館長 川 良 雄 |
| 1~13 | 14.00~14.15 | 骨組系に対する演算子法について | 信州大学工学部 ○金沢孝和・谷本勉之助 |
| 1~14 | 14.15~14.30 | 2主構型斜め箱橋の実験的研究 | 名古屋工業大学 中村 卓次 |
| 1~15 | 14.30~14.45 | 中空円断面部材のエルボウ部分における曲げ屈伏現象について | 名古屋工業大学 荒井利一郎・○水谷敏則 |
| 1~16 | 14.45~15.00 | 鉄筋コンクリート梁の極限設計に関する基礎的研究について | 名古屋工業大学 吉田弥智・奥田義徳 |
| 1~17 | 15.00~15.15 | 畑尾橋工事報告 | 愛知県 江口 昂三 |
| 1~18 | 15.15~15.30 | 氷見市くろみ地区の地すべりについて | 富山県砂防課長 尾崎 雅 篤 |
| 1~19 | 15.40~15.55 | ソイルセメントの原材料のときほぐしに関する基礎的研究(第1報) | 金沢大学工学部 柳場重正・○川村清紀 |
| 1~20 | 15.55~16.10 | くりかえし荷重を受ける路盤上の 1, 2 の実験結果について | 石川高専 松尾 剛・金沢大学 西田親親・○射場正和 |
| 1~21 | 16.10~16.25 | 基之助谷の地へりについて | 北陸地方建設局 ○林 武・佐々木大造 |
| 1~22 | 16.25~16.40 | 壁体構造物のすべり出し抵抗 | 名古屋大学工学部 市原公平・○伊藤克彦・寺本博真 |
| 1~23 | 16.40~16.55 | 多層地盤の弾性的変位について | 名古屋大学工学部 植下 協・○渡辺建蔵・新潟県 近藤昌泰・名古屋市 梶田富士夫 |
| 1~24 | 16.55~17.10 | 地滑り防止に関する実験的研究 | 信州大学工学部 川上 浩 |

第2会場 物理特別教室

- | | | | |
|------|-------------|--------------------------------------|---|
| 2~1 | 9.00~9.15 | 矩形海域の開口部における流速について | 岐阜大学工学部 増田重臣・名古屋港管理組合 ○大林 隆 |
| 2~2 | 9.15~9.30 | ポンプ船の放水路掘削における能率的使用法について | 北陸農政局 田中 喜一郎 |
| 2~3 | 9.30~9.45 | 洗掘深さと波の反射に関する相関性 | 名古屋大学工学部 足立昭平・大阪大学工学部 植木 亨・名古屋大学工学部 庄野博又 |
| 2~4 | 9.45~10.00 | 静水中への河川流出水の拡散について(続報) | 名古屋大学工学部 足立昭平・大阪大学工学部 植木 亨・名古屋大学工学部 ○竹内 宏 |
| 2~5 | 10.00~10.15 | 海岸堤防の越波に関する基礎的研究(第1報) | 名古屋大学工学部 高田 彰 |
| 2~6 | 10.15~10.30 | 控工のない矢板壁の設計法に関する一考察 | 第5港湾建設局 富田 勇 |
| 2~7 | 10.35~10.50 | バイル打込時における地盤振動に伴う埋設管の影響について | 名古屋市水道局 山田 淑 市 |
| 2~8 | 10.50~11.05 | 金沢バイパスの計画について | 北陸地方建設局 ○末田一好・山田 功 |
| 2~9 | 11.05~11.20 | 非戦災都市の特性 | 石川県土木部 勝見 進 |
| 2~10 | 11.20~11.35 | 信号系統化の理論と実例 | 名古屋大学工学部 毛利正光・○本多義明・中日本コンサルタント 遠藤賢三 |
| 2~11 | 11.35~12.15 | 由比海岸工事の概要について | 中部地方建設局 北村 律太郎 |
| | | 昼食休憩 12.15~13.00 | |
| 特別講演 | 13.00~13.55 | (第1会場にて) 辰己用水の話 | 石川県議会図書館長 川 良 雄 |
| 2~12 | 14.00~14.15 | 名古屋都心の駐車場問題 | 名古屋大学工学部 ○毛利正光・横井益美 |
| 2~13 | 14.15~14.30 | 都市における環状輸送路の位置について | 名古屋大学工学部 河上 省 吾 |
| 2~14 | 14.30~14.45 | バス運行の効率化に関する考察 | 名古屋大学工学部 毛利正光・○川西 敷 |
| 2~15 | 14.45~15.00 | 車両交通量の速度分布の確率論的考察 | 名古屋大工業学 渡辺新三・○金丸次男 |
| 2~16 | 15.00~15.15 | 都市高速道路の OFF RAMP WAY 付近の交通流に関する基礎的研究 | 名古屋工業大学 渡辺新三・菅沼健次郎 |
| 2~17 | 15.15~15.30 | 道路における n 位経路の探索理論と計算法 | 岐阜大学工学部 加藤 晃 |
| 2~18 | 15.40~15.55 | アスファルト舗装のすべり止めについて | 中部地方建設局 小栗良知・○馬場和秋 |
| 2~19 | 15.55~16.10 | 陸上貨物輸送の最適計画に関する一考察 | 岐阜大学工学部 加藤 晃・岐阜高専 ○水野 弘 |
| 2~20 | 16.10~16.25 | 道床・路盤の動的性質について | 岐阜高専 渡辺 卓 郎 |
| 2~21 | 16.25~16.40 | 北陸本線新深坂隧道の特殊施工について | 岐阜工事局 関 本 義 雄 |
| 2~22 | 16.40~16.55 | 北陸線のスピードアップについて | 金沢鉄道西管理局 有木 千 造 |
| 2~23 | 16.55~17.10 | 勝原第三発電所計画について | 北陸電力KKK 高 瀬 博 |

関西支部行事案内 (大阪市東成区中道元町1丁目 149 番地
電話 大阪 (06) 981-2510 振替口座大阪 82599 番)

(1) 関西支部年次学術講演会 (昭和 41 年度)

◀ 11 月 13 日 (日) ▶

1. 日 時: 1966 年 11 月 13 日 (日) 9.00~17.00

2. 場 所: 大阪市立大学工学部 電 大阪 (06) 692-1149

大阪市住吉区杉本町 459 国鉄阪和線杉本町駅下車東へ徒歩 5 分

3. 講演題目および講師:

A 特別講演 (12.55~13.50) 工学部大講義室

12.55~13.00 挨拶

土木学会関西支部長 小 西 一 郎

13.00~13.50 都市交通における諸問題

大阪市立大学名誉教授 経済学博士 富 永 祐 治

B 一般講演 (発表時間 1 題 12 分)

I 構造力学・構造工学・橋梁工学

第 1 会場 (午前)

9.00~10.30

① 連続斜板の解析

大阪工業大学 岡村宏一・大阪設計コンサルタンツKK 吉田公憲・○小林真一

② 弾性基礎上のはりの実験的一考察

大阪市立大学工学部 工博 倉田宗章・国立明石工業高等専門学校 高端直広・大阪市立大学工学部 ○谷平 勉

③ 3 径間連続 RC 穴あき床版橋における端部支承受反力防止策に関する二, 三の方法 (主として人工軽量骨材使用について)

KK 東亜設計事務所大阪出張所 山 岡 歳 雄

④ Hybrid Girder に関する一実験

京都大学工業教員養成所 工博 ○米沢 博・KK 呉造船所 中原 久・児玉行雄

⑤ ら線げたの力学性状に関する二, 三の基礎的研究

京都大学工学部 工博 小西一郎・白石成人・○神部俊一

⑥ 弾性地盤上にある箱型構造の立体解析

大阪工業大学 ○岡村宏一・大阪設計コンサルタンツKK 吉田公憲

討 議

10.30~12.00

⑦ 格子桁の荷重分配と橋脚梁のタワミの関係

京都大学工業教員養成所 工博 米沢 博・○三上市蔵

⑧ 曲線格子桁の極限解析

京都大学工業教員養成所 工博 米沢 博・○三上市蔵・国立明石工業高等専門学校 嵯峨 晃

⑨ 周辺完全自由な矩形床版をもつ無梁版の立体解析

大阪工業大学 岡村宏一・大阪設計コンサルタンツKK ○吉田公憲

⑩ 多間ラーメンの動荷重に対する解法

大阪工業大学 工博 重松 愿

⑪ 梯子梁の曲げ崩壊

大阪市立大学工学部 工博 倉田宗章・○安岡富夫

⑫ コロウエルドローラー支承の実験的研究 (スライド使用)

大阪大学工学部 工博 小松定夫・オイルス工業KK ○多田 博

討 議

第 1 会場 (午後)

14.00~15.30

⑬ 斜めつり材をもつ吊橋の力学性状について

京都大学工学部 工博 小西一郎・白石成人・○野口昌結

⑭ 斜めハンガ付きつり橋の静力学特性に関する実験的研究

三菱重工業KK 工博 伊藤敏一・○市場 悟

⑮ 円弧アーチリブのねじれ振動に関する基礎的研究

京都大学工学部 工博 ○白石成人・小園俊樹

⑯ 曲げとねじりを同時に受ける折橋の振動特性について

大阪市立大学工学部 工博 橋 善雄・○中井 博・阪神道路公園 橋本良之

⑰ つり橋タワーピア系の地震応答における地盤係数の影響について

京都大学工学部 工博 山田善一・○竹宮宏和

⑱ つり橋タワーピア系の地震応答における基礎の非弾性効果について

京都大学工学部 工博 山田善一・○後藤羊三

討 議

15.30~17.0

⑲ セル型構造物の安定性に関する基礎的研究

京都大学工学部 工博 長尾義三・工博 後藤尚男・土岐憲三・○黒田勝彦

⑳ 摩擦接合の耐力の変動要因に関する研究

神戸大学工学部 工博 西村 昭・○広田邦夫・KK 栗本鉄工所 中村義郎

㉑ 高強度鋼の座屈と疲労について

大阪市立大学工学部 工博 橋 善雄・KK 春本鉄工所 奥井大三・大阪市立大学工学部 ○目加田 保

㉒ 脆性材料の破壊条件に関する二, 三の考察

京都大学工学部 工博 丹羽義次・○小林昭一

㉓ セメントモルタルの引張りを含む破壊条件について

京都大学工学部 工博 丹羽義次・小林昭一・○平島健一

㉔ 人工軽量コンクリートの圧縮域における破壊条件について (スライド使用)

京都大学工学部 工博 丹羽義次・小林昭一・○小林 治

討 議

第 5 会場 (午前)

9.00~10.30

㉕ 不規則振動論による道路橋の動的応答の解析 (スライド使用)

京都大学工学部 工博 山田善一・○小堀為雄

㉖ 構造物の耐震設計における入力地震波について (スライド使用)

京都大学工学部 工博 後藤尚男・○土岐憲三

㉗ 松代群発地震地域における橋りょうの震動観測結果について (スライド使用)

京都大学工学部 工博 後藤尚男・亀田弘行・○石田昌弘

㉘ 衝撃をうける摩擦抗の動的挙動について (スライド使用)

京都大学工学部 工博 丹羽義次・佐藤 誠・○久保 晋

㉙ 鋼管斜組ぐい橋脚の振動実験 (第 2 次試験大型起振機試験) (スライド使用)

神戸大学工学部 工博 知中元弘・兵庫県土木部 小笠原 弘

㉚ 円形立坑周辺の応力状態

神戸大学工学部 Ph. D 桜井春樹

討 議

10.30~11.15

- ㉑ 高張力ボルト継手(引張接合)の疲労強度(スライド使用) 京都大学工学部 工博 小西一郎・山川純雄・佐岡暖也・〇松井五郎
- ㉒ 鋼床版現場溶接継手の疲労強度(スライド使用) 京都大学工学部 工博 小西一郎・〇山川純雄・本田博良・大阪市土木局 近藤和夫・加藤隆夫
- ㉓ パイプ材端接合部の構造について(模型実験)(スライド使用) 日立造船KK 工博 浦田昭典・〇 牧本 宏・高松 広

討 議

II 水理学・水文学・河川工学・海洋工学・港湾工学・衛生工学

第2会場(午前)

9.00~10.30

- ① 複断面水路の水理特性に関する研究 京都大学防災研究所 工博 芦田和男・高橋 保・京都大学工学部 〇竹元忠嗣
- ② 分流入に関する実験的考察 京都大学防災研究所 中川博次・〇宇民 正・京都大学工学部 武内 等
- ③ 刃形せきの流量係数に及ぼすせき高の影響 京都大学防災研究所 〇中川博次・中川 修
- ④ 放射流れに関する水理学的研究 京都大学工学部 工博 岩佐義明・〇田村正秀
- ⑤ 波状水路における流れ 京都大学工学部 工博 岩佐義明
- ⑥ 開水路流れにおける拡散過程について(第9報) 京都大学工学部 今本博健・井上和也・〇白砂孝夫

討 議

10.30~12.00

- ⑦ 山地小流域河川の低水解析 京都大学防災研究所 農博 角屋 陸・水資源開発公団 川北晃久・京都大学工学部 〇丈達俊夫
- ⑧ 流域地形の統計と地形法則 京都大学工学部 高棟琢馬・〇瀬能邦雄
- ⑨ 時差相関からみた降水流出特性 京都大学工学部 工博 石原藤次郎・高棟琢馬・〇池淵周一
- ⑩ 洪水調節池を含む河川の治水計画基準について(スライド使用) 京都大学防災研究所 長 尾 正 志
- ⑪ 洪水時の流出成分について(スライド使用) 京都大学防災研究所 工博 石原安雄・京都大学工学部 〇奥村忠敬
- ⑫ 貯水池群の操作に関する推計的方法 大阪大学工学部 工博 室田 明・〇神田 徹・端野道夫

討 議

第2会場(午後)

14.00~15.30

- ⑬ Flow Visualization 法における2,3の問題点 防衛庁 志方俊之・京都大学工学部 〇花村哲也
- ⑭ 水平水路床に設置された鉛直水門に作用する変動外力について 京都大学工学部 工博 岩佐義明・〇名合宏之・堀江 毅
- ⑮ 重力ダムに働く地震時動水圧に関する一、二の考察 京都大学工学部 工博 石原藤次郎・〇星島 勝
- ⑯ 海岸堤防の洗掘量について 大阪大学工学部 工博 榎 木 亨
- ⑰ 漂砂の供給源としての海食崖について 京都大学防災研究所 野田英明・〇芝野照夫
- ⑱ 河川弯曲部における洗掘機構に関する研究 京都大学防災研究所 工博 芦田和男・村本嘉男・京都大学工学部 〇坂本忠彦

討 議

15.30~17.00

- ⑲ 水たたき下流部における局所洗掘について 京都大学工学部 工博 土 屋 義 人
- ⑳ 砂れきの流送機構について 京都大学防災研究所 工博 土屋義人・〇道上正規
- ㉑ 床面付近における砂粒の運動機構について 京都大学防災研究所 工博 土屋義人・〇角野 稔
- ㉒ 砂防ダムによる土砂多き流れの制御について 京都大学工業教員養成所 大同淳之・神戸市立工業高等専門学校 〇日下部重幸
- ㉓ 山岳小流域における土砂流出に関する二、三の観測結果について 京都大学防災研究所 工博 矢野勝正・工博 土屋義人・〇奥村武信

討 議

第5会場(午後)

15.30~16.45

- ㉔ アーチ型水門に働く波圧の実験的研究 京都大学防災研究所 工博 岩垣雄一・井上雅夫・〇吉川昌弘
- ㉕ 高潮の共振についての実験的研究 大阪大学工学部 工博 室田 明・島田壮八郎・〇岩井勝彦
- ㉖ 長大棧橋を利用した波浪観測について 京都大学防災研究所 工博 岩垣雄一・〇柿沼忠男
- ㉗ 模型実験による明石港西外港計画の検討 大阪市立大学工学部 工博 永井莊七郎・〇久保 直
- ㉘ 消波ブロックに関する二、三の問題点 大阪工業大学 久保一・玉井佐一・〇井田保夫

討 議

第5会場(午前)

11.15~12.00

- ㉙ 建設工事交通機関による振動障害(その2)(スライド使用) 神戸大学工学部 工博 如中元弘・神戸市土木局 花田完五・〇安藤恵音
- ㉚ 大阪市における学校騒音の実態(スライド使用) 京都大学工学部 医博 庄司 光・医博 山本剛夫・〇中村隆一
- ㉛ 自動車排気による大気汚染点火改良装置による排気組成の変化(スライド使用) 京都大学工学部 医博 庄司 光・医博 山本剛夫・〇西田耕之助・高田 進・井上香織

第5会場(午後)

14.00~15.30

- ㉜ プレスフィルターによる下水汚泥の脱水実験 大阪工業大学 工博 川島 晋・〇高田 巖
- ㉝ 活性汚泥法処理水質と操作因子 京都大学工学部 田 井 慎 吾
- ㉞ 活性汚泥高負荷運転に関する研究(スライド使用) 京都大学工学部 宗宮 功・〇李 錦榮
- ㉟ 降雨推移確率を考慮した下水排除計画 京都大学工学部 工博 末石富太郎・山田 淳
- ㊱ 放射性廃棄物の海洋投棄処分に関する研究—再処理廃液のセメント固化法について(スライド使用) 京都大学工学部 工博 岩井重久・ph D 井上頼輝・〇寺島 泰・青山 勲

㉞ 放射性廃棄物の海洋投棄処分に関する研究—固化投棄体中放射性成分の溶出について— (スライド使用)

京都大学工学部 工博 岩井重久・井上頼輝・ph D 寺島 泰・青山 勲

討 議

III 土質力学・土質工学・基礎工学・土木機械

第 3 会 場 (午前)

9.00~10.30

- ① 浸透圧を利用した粘土の圧密について (スライド使用) 大阪市立大学工学部 工博 三瀬 貞・鈴木健夫・〇梶本美弘
- ② たわみ性舗装の沈下について 神戸大学工学部 西 勝
- ③ 砂の圧縮性について 京都大学防災研究所 八 木 則 男
- ④ 砂層の変形に関するモンテカルロ法的研究 (第 2 報) 京都大学工学部 松尾 稔・駒田智久
- ⑤ 異方性粘土の直接せん断試験について 京都大学防災研究所 工博 村山朗郎・〇塚原則夫
- ⑥ 多軸応力下における岩石の破壊に関する一寄与 京都大学工学部 工博 赤井浩一・山本和夫・〇森 寛昭

討 議

10.30~12.00

- ⑦ 真砂土の組成と工学的特性について (とくに雲母の影響について) 京都大学工学部 工博 松尾新一郎・京都大学工業教員養成所 〇西田一彦
- ⑧ 真砂土の転圧実験について 神戸大学工学部 工博 谷本喜一・矢井 徹
- ⑨ 雲母性真砂土の透水性について 京都大学教員養成所 工博 久保田敬一・佐藤忠信・大阪府立都島工業高等学校 〇村田師照
- ⑩ 突き固めによる土粒子の破碎について 京都大学工業教員養成所 工博 久保田敬一・〇佐藤忠信
- ⑪ 射出水による土質改良について (第 3 報) 京都大学工学部 工博 松尾新一郎・〇木暮敬二・沢 孝平
- ⑫ 赤泥による安定処理の一実験 (スライド使用) 大阪府立大学工学部 鈴 木 健 夫

討 議

第 3 会 場 (午後)

14.00~15.30

- ⑬ 湖水面の変化による地下水位変動の考察 京都大学工学部 工博 松尾新一郎・〇河野伊一郎
- ⑭ クリークから浸透による地下水位変化について (第 3 報) 京都大学工学部 宇 野 尚 雄
- ⑮ 金属面の砂質土に対する摩耗特性について 京都大学工学部 工博 島昭治郎・室 達朗
- ⑯ トンネル切羽における作業特性の解析 京都大学工学部 工博 島昭治郎・〇太田秀樹
- ⑰ 粘土の応力緩和によるトンネル土圧について 京都大学防災研究所 工博 村山朗郎・京都大学工学部 〇松岡 元
- ⑱ 斜面内に埋設された基礎の引揚抵抗力に関する研究 京都大学工学部 松尾 稔・田河勝一

討 議

15.30~16.45

- ⑲ 阪急梅田駅拡張工事に伴う基礎杭 1200 t 載荷試験について 阪急エンジニアリングKK 清水 鉄・京阪神急行電鉄KK 村上 讓・〇木下 成
- ㉚ 群ぐいの弾性沈下に関する一計算法 京都大学工学部 工博 後藤尚男・立命館大学理工学部 〇勝見 雅
- ㉛ ビヤ基礎の沈下に関する一考察 大阪市立大学工学部 工博 三瀬 貞
- ㉜ 弾塑性地盤中にある杭の水平振動について 京都大学工学部 工博 後藤尚男・土岐憲三・〇秋吉 卓
- ㉝ 松代群発地震地域における地盤の震動観測結果について (スライド使用) 京都大学工学部 土岐憲三・〇横山康夫・秋吉 卓

討 議

IV 交通工学・土木計画学・測量・コンクリートおよび鉄筋コンクリート工学・土木材料

第 4 会 場 (午前)

9.00~10.30

- ① 交通サービスの時間圏域に関する一考察 大阪府企画部 赤井一昭・〇西村 昂
- ② 加減速ノイズと燃料消費量との関係について 京都大学工学部 香川一男・下津陸三・〇梅田治道
- ③ 都市人工密度分布の成長過程に関する研究 京都大学工学部 工博 天野光三・〇藤田昌久
- ④ 交通施設建設, 整備の経済効果測定に関する研究 京都大学工学部 工博 長尾義三・〇森杉寿芳
- ⑤ 土木工事の工程計画, 管理手法としての PERT の実用化に関する研究 京都大学工学部 工博 吉川和広・赤城慎一・〇春名 攻
- ⑥ 通勤鉄道網パターンについて 京都大学工学部 工博 天野光三・〇青山吉隆

討 議

10.30~12.00

- ⑦ 信号交差点のシミュレーション 京都大学工学部 工博 米谷栄二・〇奥谷 巖
- ⑧ 信号交差点網のシミュレーション 京都大学工学部 工博 米谷栄二・〇明神 龍
- ⑨ 内質雑貨ふ頭能力に関する一考察 京都大学工学部 工博 長尾義三・〇金井萬造
- ⑩ トラックターミナルにおける計画に関する一考察 京都大学工学部 工博 長尾義三・〇真綱 逸
- ⑪ 駅前広場におけるタクシー駐車場の規模決定に関する一考察 京都大学工学部 工博 吉川和広・〇木俣 昇
- ⑫ 飛行場スポットの規模決定に関する一考察 京都大学工学部 工博 吉川和広・〇戸嶋英樹

討 議

第 4 会 場 (午後)

14.00~15.30

- ⑬ 大阪市における街路交通現況調査について 大阪市総合計画局 橋本 固・〇伊藤和雄
- ⑭ 会場内の群衆流動パターンに関する研究 京都大学工学部 工博 佐佐木 綱・〇松井 寛
- ⑮ 路線別 OD 交通量推定に関する研究 京都大学工学部 工博 天野光三・〇村橋正武
- ⑯ 神戸市における OD 交通量の推定について 京都大学工学部 香 川 一 男
- ⑰ 観光交通量の推定について 京都大学工学部 工博 佐佐木 綱・〇住田隆快

- ⑬ 傾斜式写真経緯儀の検査法について (スライド使用)
討 議 京都大学工学部 工博 森 忠 次
- 15.30~17.00
- ⑭ 人工軽量骨材の吸水特性について (スライド使用) 京都大学工学部 西 林 新 蔵
- ⑮ モルタル曲げクリープにおよぼす含水量の影響 近畿大学理工学部 玉 井 元 治
- ⑯ PC 定着部の応力状態について 神戸大学工学部 藤 井 学・○樺村雄佑・和佐勇次郎
- ⑰ プレテンション部材耐力におよぼすボンドの影響 神戸大学工学部 藤 井 学・○佐賀良助・浜田賢太郎
- ⑱ プレストレスト コンクリートの衝撃強度に関する研究 京都大学工学部 工博 岡田 清・広島県立尾道東高等学校 ○久良喜代彦
- ⑳ PCパイルの埋込長に関する実験的研究 (スライド使用) 京都大学工学部 工博 岡田 清・千代憲司・○小野絢一
- 討 議

4. 講演概要頒布: 論文抄録集B 5判・オフセット印刷をつぎのとおり頒布いたします (ただし 450 部限り申込先着順)。

正会員 200 円, 学生会員 100 円, 非会員 300 円, 講演者 (○印) は無料
テキスト前送希望者は送料 100 円をご送付下さい。

5. 聴 講: 無料, 来聴歓迎

6. 申込方法: 講演概要希望者は 10 月 24 日 (月) までに勤務先, 連絡先, 会員の種別, 氏名および講演会に出欠を明記のうえ上記講演概要代金および送料 (前送希望者のみ) を添えて土木学会関西支部へお申し込み下さい。

(2) PC に関する講習会 ——プレストレスト コンクリート最近の進歩について——

◀ 11 月 30 日 (水) ~ 12 月 1 日 (木) ▶

主催: 土木学会関西支部

協賛: 日本建築学会近畿支部・日本材料学会PC構造研究委員会・プレストレスト コンクリート技術協会

1. 期 日: 1966 年 11 月 30 日 (水), 12 月 1 日 (木) の両日

2. 場 所: 大阪科学技術センター 8 階大ホール 電 大阪 (06) 443-5321

大阪市西区靱 1 丁目 118 番地 (地下鉄 3 号線信濃橋下車北へ 150 m 靱公園北東角)

3. 題目と講師:

第 1 日 (11 月 30 日)

- 10.00~10.10 開会挨拶 土木学会関西支部長 小 西 一 郎
- 10.10~11.20 ① PC の現状と趨勢 京都大学教授 工博 岡 田 清
- 11.20~12.30 ② PC 鋼材の現況 住友電気工業KK特殊線事業部長 武 尾 敬之助
- 13.20~14.30 ③ PC に対する設計上の諸問題 (静定構造) 神戸大学助教授 工修 藤 井 学
- 14.40~15.50 ④ PC に対する設計上の諸問題 (不静定構造) 大阪大学助教授 鈴木 計 夫
- 15.50~17.00 ⑤ PC 構造物の耐震性および耐火性 京都大学教授 工博 六 車 照

第 2 日 (12 月 1 日)

- 10.00~11.10 ⑥ F.I.P. (PC 世界会議) の概要と各国の展望 KK日本構造橋梁研究所設計部長 工博 猪 股 俊 司
- 11.10~12.20 ⑦ PC 建築物の組立工法について KK岡本建築設計事務所 工博 岡 本 剛
- 13.20~14.30 ⑧ 最近のPC道路橋の長大化について 日本道路公団技術部構造設計課長 乙 藤 憲 一
- 14.40~15.50 ⑨ PC 鉄道橋の最近の傾向と諸問題 国鉄構造物設計事務所主任技師 尾 坂 芳 夫
- 15.50~15.55 ⑩ 閉会挨拶 土木学会関西支部幹事長 伊 藤 富 雄

4. 定 員: 300 名

5. 参加費: 主催・協賛協会会員 1500 円 (テキスト代を含む) ただし講習会当日は 2000 円となりますので申込期限内に前納して下さい。

非 会 員 2000 円 (テキスト代を含む)

6. 申込期限: 1966 年 11 月 14 日 (月)

7. 申込方法: 参加希望者は勤務先, 連絡先, 氏名および所属学協会名を明記 (様式随意) して上記参加費を添えて 11 月 14 日 (月) までに土木学会関西支部へお申し込み下さい。ただし, 申込期限内でも定員に達した時は先着順で決めますから早く申し込んで下さい。参加者には参加証をお送りしますから当日は必ずご持参下さい。参加証のない人は入場をお断りします。

(注) 都合により講師の順序に変更があるかも知れませんので御了承下さい。

(3) 道路・交通工学における最近の諸問題講演会

◀ 12 月 6 日 (火) ~ 7 日 (水) ▶

1. 期 日: 1966 年 12 月 6 日 (火), 7 日 (水) の両日

2. 場 所: 大阪府厚生会館別館小ホール 電 大阪 (06) 942-2441

大阪市東区森ノ宮西ノ町 654 (国鉄環状線森の宮駅下車西へ 5 分)

3. 題目と講師:

第 1 日 (12 月 6 日)

13.00~13.10	開会挨拶	土木学会関西支部長 小西 一郎
13.10~14.00	① 道路交通量の推定について	京都大学教授 工博 佐々木 謙
14.00~14.50	② 交通流の面制御	京都大学助教授 工修 明 神 証
15.00~15.50	③ ガードフェンスについて	建設省土木研究所千葉支所道路研究室主任研究員 枝村 俊 郎
15.50~16.40	④ 交通工学の最近の動向	京都大学教授 工博 米 谷 栄 二
16.40~17.00	質疑応答	

第 2 日 (12 月 7 日)

9.30~10.10	⑤ 簡易舗装と防塵処理	大阪市立大学教授 工博 三 瀬 貞
10.10~10.50	⑥ アスファルト舗装の問題点	建設省土木研究所千葉支所舗装研究室長 工修 松 野 三 朗
11.00~11.40	⑦ 道路維持管理上の問題点	建設省近畿地方建設局道路部長 佐々木茂雄
11.40~12.00	質疑応答	
13.00~13.40	⑧ 道路土工の問題点	建設省土木研究所千葉支所長 工博 福 岡 正 己
13.40~14.20	⑨ 道路における多層問題	名古屋大学助教授 工博 植 下 協
14.20~15.00	⑩ 締固めおよび斜面安定	神戸大学教授 工博 谷 本 喜 一
15.10~15.50	⑪ 路床・路盤における水の挙動	京都大学教授 工博 松 尾 新 一 郎
15.50~16.30	⑫ 道路構造物における問題点	大阪大学教授 工博 伊 藤 富 雄
16.30~16.50	質疑応答	
16.50~16.55	閉会挨拶	土木学会関西支部幹事長 伊 藤 富 雄

4. 定 員：280 名

5. 参加費：会員 1000 円 (テキスト代を含む) ただし講演会当日は 1300 円となりますので申込期限内に前納して下さい。
非会員 1300 円 (テキスト代を含む)

6. 申込期限：1966 年 11 月 21 日 (月)

7. 申込方法：参加希望者は勤務先、連絡先、氏名および会員の種別を明記(様式随意)して上記参加費を添えて 11 月 21 日(月)までに土木学会関西支部へお申し込み下さい。ただし申込期限内でも定員に達した時は先着順で決めますから早く申し込んで下さい。参加者には参加証をお送りしますから当日は必ずご持参下さい。参加証のない人は入場をお断りします。
(注) 都合により講師の順序に変更があるかもしれませんのでご了承下さい。

(4) 淀川に関する研究会

◀ 11 月 11 日 (金) ▶

1. 日 時：1966 年 11 月 11 日 (金) 10.00~17.00

2. 場 所：大阪科学技術センター 4 階 401 号室 電 大阪 (06) 443-5321

大阪市西区靱 1 丁目 118 番地 (地下鉄 3 号線信濃橋駅下車北へ 150m 靱公園北東角)

3. 題目と講師：

10.00~10.10	開会挨拶	土木学会関西支部長 小西 一郎
10.10~11.20	① 淀川水系の現況	近畿地方建設局河川部長 川 崎 精 一
11.20~12.30	② 航空写真による洪水流の解析	自由学園最髙学部教授 工博 木 下 良 作
13.20~14.30	③ 淀川水利用の現況	近畿地建淀川工事事務所長 宮 崎 明
14.30~15.40	④ 淀川河口部の高潮について	大阪府土木総高潮課長 松 本 正
15.40~16.50	討 論	
16.50~16.55	閉会挨拶	土木学会関西支部幹事長 伊 藤 富 雄

司 会：近畿圏整備本部調査官

藤 野 良 幸

4. 定 員：150 名

5. 聴 講：無料、来聴歓迎

(お願い) 各職場班では参加予定人員を 10 月 31 日 (月) までにハガキまたは電話にて土木学会関西支部までご一報下さい。

(5) 学生映画会

(第 1 回)

1. 日時および場所：1966 年 10 月 21 日 (金) 13.00 より

立命館大学理工学部 8 号館 67 号室 電 京都 (44) 2181 京都市北区等持院北町 市バス立命理工前下車

1966 年 10 月 22 日 (土) 13.00 より

京都大学工学部土木教室 155 号室 電 京都 (77) 8111 京都市左京区吉田本町 市電百万遍下車

2. 上映映画：エレクトロニクスに生きる (16 ミリ カラー 25 分) 大都会のハンドル (16 ミリ 白 黒 20 分)
繁栄への道——計画編 (16 ミリ カラーワイド 10 分) 繁栄への道——工事編 (16 ミリ カラーワイド 28 分) 琵琶湖大橋 (16 ミリ カラー 35 分)

会 告

3. 定 員：立命館大学 200 名、京都大学 300 名
4. 参加費：無料、正会員の方の参加も歓迎します。

(第 2 回)

1. 日 時：1966 年 11 月 12 日 (土) 13.30 より
2. 場 所：大阪府立工業高等専門学校社会学教室 電 寝屋川 (0720) 21-6401 寝屋川市幸町 26 番 12 号 京阪電車 寝屋川駅下車 京阪バス (成田山下行) 国松南口下車または京阪電車香里園駅下車、京阪バス (天満橋行) 国松南口下車
3. 上映映画：鉄道——東海道新幹線工事記録を中心に—— (16 ミリ カラー 20 分) 軟弱地盤の改良 (16 ミリ カラー 25 分) 新しい橋 (D.W. 工法) (16 ミリ カラー 30 分) くろよん (16 ミリ カラーシネスコ 39 分)
4. 定 員：100 名
5. 参加費：無料、正会員の方の参加も歓迎します。

(6) 第 1 回学生見学会 (大阪市地下鉄工事・大阪空港工事見学会) ◀ 10 月 29 日 (土) ▶

1. 日 時：1966 年 10 月 29 日 (土)
2. 見学先：大阪市地下鉄工事 (5 号線上六、今里付近)、大阪空港工事 (A ランかさ上げ工事、B ラン工事、エプロン工事、ハンガー工事等)
3. 参加者資格：土木学会学生会員 (ただし、申込期限内に入会手続きのすんだものおよび大学院学生の正会員も有効)
4. 集 合：(A 班) 10 月 29 日 12 時 15 分までに京都大学土木教室
(B 班) 10 月 29 日 12 時 15 分までに立命館大学土木教室
5. 行 程：京大、立命大 12 時 30 分発—12.50 名神京都南インター—13.10 茨木インター—14.00 大阪市地下鉄工事 5 号線見学—15.30 発—16.20 大阪空港工事見学 17.20 発—17.35 豊中インター—18.10 京都南インター—18.20 京都駅着解散
6. 参加費：50 円
7. 定 員：120 名
8. 申込期限：1966 年 10 月 14 日 (金)
9. 申込要領：参加希望者は、学校名、氏名および集合場所 (A または B) を明記し参加費 50 円を添えて各学校の学生班長を経由のうえ 10 月 14 日 (金) までに土木学会関西支部へお申込み下さい。
申込期限内に定員を超過した時は学校別に人員の割当てをいたしますからお含み下さい。
学生班長は申込先順位番号を付して一括申し込んで下さい。

中国四国支部行事案内 (広島市小町 4-33 中国電力土木部内・電 広島 41-0211)

支部総会ならびに第 18 回学術講演会 ◀ 11 月 24 日 (木)~11 月 26 日 (土) ▶

1. 日 程：1966 年 11 月 24 日 (木)；支部総会ならびに学術講演会
1966 年 11 月 25 日 (金)；学術講演会
特別講演 (土質工学会四国支部共催)
1966 年 11 月 26 日 (土)；見学会・行程等目下検討中
2. 場 所：愛媛県松山市文京町 3 番地 愛媛大学工学部
なお詳細は 11 号に記載いたします。

西部支部行事案内 (福岡市舞鶴町 1 丁目 4 の 1 九州建設広済会内 電 福岡 74-1972)

合同講演会 ◀ 10 月 28 日 (金) ▶

- 主 催：日本金属学会九州支部・日本鉄鋼協会九州支部・土木学会西部支部
1. 日 時：1966 年 10 月 28 日 (金) 10.30~15.50
 2. 場 所：九州大学工学部 (福岡市箱崎町)
 3. 講 演：

10.30~10.40	開会の辞	日本金属学会九州支部長	伊 藤 尚
10.40~11.20	港湾における鋼材の使用について	第四港湾建設部小倉調査事務所長	北 村 広 行
11.20~12.00	防蝕について	工業技術院九州工業技術試験所長	重 野 速 人
12.00~13.00	映画「若戸大橋建設」		日本道路公団
13.00~13.40	建設用鋼材における問題点	八幡製鉄技術研究所鋼材研究室研究員	権 藤 永
13.40~14.20	鉄筋コンクリートはりのボンドおよび疲労について	九州大学教授	水 野 高 明
14.20~15.00	サスペンションワイヤについて	東京製鋼 KK 参与	新 保 赴 夫
15.00~15.40	第二関門連絡道路の技術的諸問題	九州地方建設局北九州国道副所長	大 橋 昭 光
15.40~15.10	閉会の辞	日本鉄鋼協会九州支部長	和 田 亀 吉